

就職活動を多方面からサポート

## これからの就職活動に向けて

景気が上向きと言われながらも、厳しい新卒の就職戦線。キャリアセンターでは、学生の夢と目標をかなえるためのステップのひとつである就職活動を、教職員が一丸となって支援しています。



### 就職市場の変化

世間では景気回復の兆しがあり、一般企業の求人件数が増加しています。昨年度比で、メーカーは180%、それ以外の企業で130%の求人を現在頂いています。ただし、数は増えていても、求められている人材のレベルは下がっていません。学生の皆さんには引き続き、気を引き締めて努力してほしいと思います。

医療・福祉関連機関は従来から求人件数が潤沢ですが、さらに前年度に比べ10%~40%増加しています。職種によって多少異なりますが、70~80人の卒業予定者に対して、500~1,000件の求人があります。

学生の皆さんは、インターネットでの情報収集に加え、キャリアセンターの求人もぜひ参考にしてみてください。求人情報は、学内ポータルサイトで検索ができるようになっていますが、今年度から、学外からもアクセスできるようになりました。また、求人情報はメールでも配信していますので、是非活用してください。

### 就職活動の流れ

就職活動では、まず下記の3つのことに取り組んでください。

- ①自己分析[自分を見つめ、やりたいこと・できることなどを考える]
- ②業界研究[業界を広く調べ、興味を深める]
- ③職種研究[自分に合った職種を絞る]です。

今年度から一般企業の採用広報活動の解禁日が3月1日になります。学生は春休みモードになり、気持ちがゆるみやすくなりますので注意が必要です。キャリアセンターでは、4年次の内定者との懇談会などを企画して、モチベーションの維持に努めたいと思います。

医療・福祉系の学科は、学外実習や卒業研究などもあり、就職活動のスタートは遅くなります

が、前述の3項目は進めておくことが大切です。めざす職種も目標設定も比較的明確ですが、病院や施設はさまざまです。規模や特徴、業務内容などの研究をしっかりとって就職活動に向かってほしいと思います。

### 就職活動のサポート

キャリアセンターでは、就職活動の流れに合わせて、学科ごとにガイダンスを開催しています。筆記試験や面接などの対策セミナー、個別相談など、きめ細やかなサポートを行っています。

学生は、自身の適性を思い込みで判断している場合も多く、また、学生が接したことがある社会はまだ狭いため、やりたい仕事を誤解していることもあります。そのため、視野を広げる努力と、自身の適性を正しく分析する必要があります。本学では、就業力育成プログラムを実施し、ゼミ担当教員をはじめ、学生課やボランティアセンターなど各部署が連携して学生をサポートしています。キャリアセンターや教員との面談情報は互いに共有して、さまざまな角度から学生の適性や長所を引き出し、学生の夢や目標に向かって、視点を変えたアプローチで支援しています。

近年の傾向として、希望地域を限定する学生が多いのですが、「まず地域ありき」ではなく、何をやりたいのか、どういう仕事がしたいのか、自分自身の思いとしっかり向き合って、チャレンジしてほしいと思います。

### 保護者の皆さまへ

近年気にかけているのが、アルバイトを続けながら就職活動に臨む学生が多いことです。「辞めたら迷惑をかける」と言うのですが、必ず誰かがフォローしてくれますし、就職活動は決して易しくないため時間をかけて臨んでほしいと思います。就職活動にはさまざまな費用もかかりますし、精神的にも厳しいものですから、保護者の皆さまにも学生をサポートしていただければ幸いです。

キャリアセンター長 宮中 英司 さん



## 就職内定者の声

### インターンシップと企業説明会が、自分の将来に向き合うきっかけになりました。

就職活動を本格化させたのは、3年次の8~9月頃でした。夏期休業中にインターンシップを経験したことが大きかったです。社会人と接する貴重な機会になり、自分の職業観について考えさせられました。就職したい企業が早く決まったため、キャリアセンターではターゲットを絞ってエントリーシートを添削いただき、何度も書き直しました。また希望する職種で、他にどのような企業があるかなど、アドバイスや相談にもっていただきました。企業説明会は、少しでも興味があれば県外にも出向き、できるだけ多くの企業に触れ、視野を広げるように努めました。私の両親は、会社の規模に関係なく「まずは働いてみなさい」という考えで、就活を温かく見守ってくれていたのがうれしかったです。就活はプレッシャーや不安を誰でも抱くと思いますが、自分を見つめなおす絶好の機会でもあり、じっくり考え、人柄、やりがい、環境、勤務地など、何を軸に働きたいのかを確認して就活に励んでほしいです。

広成建設株式会社 内定



工学部  
住環境デザイン学科 4年次  
篠原 望さん

### キャリアセンターに通い、就職活動の「当たり前」を徹底的に指導してもらいました。

就職活動は病院実習が終わってから始めました。「当たり前のこと」が何も分からなかったため、キャリアセンターに通い、履歴書の書き方など基本的なことから指導を受けました。面接練習では、複数の方に面接してもらったおかげで、視点の異なる指摘をいただき、改善点をより多く見つけられたと思います。就職先には、自身のスキルアップや専門資格の取得をめざし、400床以上の大規模病院を希望していたため、夏期休業中に病院見学を行い、病院を絞っていきました。自身の希望にピッタリくる病院を見つけることは思った以上に時間がかかります。また、その病院に就職できるとも限りません。あらゆる可能性を考えて視野を広げて就職活動することが大切だと思いました。また、キャリアセンターの方や友人との情報交換も大切でした。面接での質問や、見学でどのように自己アピールをしたかなど実際に就職活動をしている人の意見を聴くことも、自身の就職活動の役に立ちました。

国家公務員共済組合連合会  
大手前病院 内定



保健医療学部  
臨床工学科 臨床検査学専攻 4年次  
三上 夏季さん

### 自身をキッチリ分析して目標を設定。大学時代の課外活動を強くアピールしました。

3年次の12月から合同説明会や個別の企業説明会に参加しました。キャリアセンターでは履歴書とエントリーシートの添削を何度もしてもらい、就職情報サイトでは100社ほどエントリーしました。ところが、キャリアセンターで自身に合っている職種は何かという相談や、自己分析をしっかりと行った結果、ボランティアをはじめとした、さまざまな課外活動の経験から、「自身より相手」という非営利の考えを持つ組織・団体をめざすことに心が決まりました。就職活動で大事なことは、とにかく諦めずに多くの企業や団体を見て、自身に合った就職先を探しだすことです。特に自己分析が大変役に立ったと感じています。大学時代にさまざまな経験を積んでおくと、視野が広がるだけでなく、就活での自己アピールもやりやすくなります。結果が出ずに苦労した時もありましたが、「諦めずに活動すれば成果が出る」と両親からの一言が印象に残っています。

日本赤十字社 内定



医療経営学部  
医療経営学科 4年次  
川中 康文さん